

シンポジウム

G空間社会の形成と地域空間のデザイン(Ⅰ)

GISの高校必修化と教育先進事例

主催：日本建築学会 情報システム技術委員会 地域空間情報デザイン小委員会

次期高等学校学習指導要領において、地理科目が2022年に必修科目となり、GISがその柱となることが決定した。数年後、GISに最初から慣れ親しんだ状態の高校生が建築系大学に進学してくるだけでなく、日本社会全体でGISや地理空間情報の利活用が進み、G空間社会（地理空間情報高度利用社会）の形成に向けた大きなパラダイムシフトが起きるということを意味する。本会としてその対応を議論すべく、その第一弾としてGIS高校必修化情報に関する講義、また大学や高校でのGIS教育先進事例紹介を実施する。

■日時：2019年3月8日（金） 13時00分～16時30分

■会場：建築会館会議室（東京都港区芝5-26-20）

■プログラム：

・主旨説明：中澤 公伯（小委員会主査・日本大学）

・講演4題 ※講演題目はすべて仮題

初等中等教育におけるGIS教育の動向 三橋 浩志（文部科学省初等中等教育局）

初等中等教育現場におけるGIS教育事例 太田 弘（慶応義塾普通部）

大学でのGIS教育事例（1） 小林 祐司（大分大学）

大学でのGIS教育事例（2） 関口 達也（中央大学）

・講演者によるパネルディスカッション

モデレータ：阪田 知彦（建築研究所）

司会：山田 悟史（立命館大学） 記録：北垣 亮馬（北海道大学）

■申込詳細：

・定員：60名（申込先着順）

・参加費：会員2000円／会員外3000円／学生1000円（資料代含む）

・申込方法：下記URLよりお申し込みください。

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=615861>

・申込締切：2019年2月28日（木）

■問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 伏見